

I. はじめに

[目次]

I-1	トップメッセージ	2
I-2	日本興亜生命の概要	4
	(1) 経営方針	4
	(2) 主な業務の内容	4
	(3) 日本興亜保険グループの一員として	5
	(4) 会社概要	5
I-3	NKSJグループの経営基本方針	6
I-4	日本興亜保険グループ中期ビジョン	7
I-5	損保ジャパンひまわり生命保険との合併について	8
I-6	合併新会社の経営ビジョンと目指す企業像	9
I-7	トピックス	10

I. はじめに

I-1 トップメッセージ

ごあいさつ

平素より、日本興亜生命に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、東日本大震災により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。当社といたしましてもできる限りのご支援をしてまいり所存でありますとともに一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

2010年度の日本経済は、年初においては、輸出や生産の増加、個人消費の堅調な動きにより景気が改善傾向にありましたが、下期に向けて円高進行等により鈍化しました。その後緩やかに回復を続けていましたが、東日本大震災による影響もあり、停滞色の強い経済情勢となりました。

生命保険業界におきましては、1996年以来減少が続いていた個人保険の新契約件数および新契約高が増加に転じるなど、改善のきざしがあるものの、全社計での保有契約高は減少が続き、1988年以来の900兆円割れとなりました。

こうした中、当社は、2010年6月に主力商品である新収入保障保険の商品改定を行い、お客さまから高い評価をいただくとともに営業態勢を強化した結果、新契約高を大きく伸ばし、規模を順調に拡大することができました。2010年度末では個人保険保有契約高は4兆5,000億円を超え、保有契約件数も68万件を突破しました。これもひとえに皆さまのご支持、ご支援の賜物と深く感謝しております。

当社は1996年8月の設立以来、皆さまのあたたかいご支援により順調に発展してまいりましたが、2010年4月に発足したNKSJグループの「お客さまに最高品質の安心とサービスを提供し、社会に貢献する」という目標のもと、成長分野と位置づけられている生命保険事業を担う、当社と損保ジャパンひまわり生命保険株式会社は、2011年10月1日に合併し、「NKSJひまわり生命保険株式会社」となることを予定しております。これにより、経営基盤をさらに強固なものとし、両社の特色や強みを活かして成長をさらに加速させ、お客さまからこれまで以上に選ばれる会社となることを目指してまいります。

<2010年度の取組み>

2010年4月1日に、当社の親会社である日本興亜損害保険株式会社は、株式会社損害保険ジャパンと共同持株会社「NKSJホールディングス株式会社」を設立し、NKSJグループが誕生しました。

日本興亜保険グループは、NKSJグループの一員として、新たなスタートを切りました。「社会への貢献」「質の向上」「収益の向上」「統合効果（シナジー）の追求」を四本柱として、2010年度から2014年度までを中期ビジョンの実行期間とし、取組みを開始しました。

また、お客さまの信頼にお応えできる企業を目指して、当社の行動指針である「すべての活動の原点をお客様におき、お客様の信頼に応えます」を全役職員が改めて認識し、お客さまの信頼確立に努めてまいりました。

当社ではこれまでもお客さまの声を真摯に受け止め、業務改善につなげていく仕組みの構築に努めてまいりましたが、「お客様の安心・利便の向上」を図るため、より一層の業務品質の向上に取り組んでまいりました。

募集プロセスにおいては、業務委託先である日本興亜損害保険株式会社との連携を一層強化しながら、お客さまに対する適切な説明責任の遂行を含めた「販売勧誘ルールの完全定着」等を従来にも増して徹底するとともに、コンプライアンスを中心とした代理店・募集人の資質向上に向けた取組み推進に努めてまいりました。

<2011年度の取組み>

NKSJグループは、「お客さまに最高品質の安心とサービスをご提供し、社会に貢献する」ことを経営ビジョンの中心に据えています。

日本興亜保険グループはNKSJグループの一員として、2010年度に引き続き、「社会への貢献」「質の向上」「収益の向上」「統合効果（シナジー）の追求」の四本柱を基本方針に据え、取り組んでまいります。

当社は、NKSJグループにおいて成長分野と位置付けられている生保事業の担い手として、グループのプレゼンス向上に大きく貢献してまいります。

2011年10月1日に予定されている損保ジャパンひまわり生命保険株式会社との合併により誕生する「NKSJひまわり生命保険株式会社」においては、「お客さま視点で全ての価値判断を行い、お客さまに最高品質の安心とサービスをご提供し、社会に貢献すること」を経営ビジョンの中心に据え、お客さまからこれまで以上に選ばれる会社になることを目指してまいります。

2011年度も引き続き、お客さまのさらなる満足度向上を目指し、お客さまとのあらゆる接点業務における業務品質の向上が何より目指すべきものと考え、品質にこだわった業務運営を行ってまいります。

最後になりますが、当社は、お客さま起点に立った保障・サービスの提供ならびにコンプライアンスの徹底を前提として、公正で誠実な取組みを展開することで、お客さまから「優れた企業」と評価される生命保険会社、そして、お客さまや代理店の皆さまから信頼され、存在感のある会社を目指して取り組んでまいります。

今後も皆さまには変わらぬご支援・ご愛顧を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2011年7月



取締役社長

橋本和生

I-2 日本興亜生命の概要

(1) 経営方針

当社は、日本興亜保険グループの企業理念と行動指針に従い、会社経営を行っています。

企業理念

日本興亜保険グループは、
自主独立の精神と自由闊達な社風のもと
時代を動かす新しい発想とたゆまぬ努力で
豊かで健全な社会の発展に貢献します。

行動指針

- 1.すべての活動の原点をお客様におき、お客様の信頼に応えます。
- 2.企業価値の向上と情報開示に努め、株主の皆様の期待に応えます。
- 3.高い企業倫理に基づき、誠実かつ公正で環境にやさしい企業活動を展開します。
- 4.自由に意見を表明し、それを具現化する活力溢れる企業風土を築きます。
- 5.代理店とともに、お客様に最高の安心と満足を提供します。

(2) 主な業務の内容

① 保険契約の引受

日本興亜損害保険株式会社の代理店約28,000店のうち、生命保険代理店として登録された約5,700店を中心とした販売チャネルにより、生損保総合販売を通じてお客様のニーズにあった、総合的にリスクをカバーする保険商品の提供に努めています。

また、これら代理店に対しては、お客さまの多様なニーズにお応えするコンサルティング力を高めるために、販売実践型の研修を継続的に実施しています。

アンダーライティング面では、健全性を確保するべく適正な危険選択を重視した業務運営を指向しています。一方で、お客さまへのサービス内容の充実に努め、お客さまから一層高い信頼が得られるよう社内体制の強化を図っています。

② 資産運用

お客さまからお預かりした保険料を安定的かつ確実に運用するため、安全性を重視したうえで長期にわたり安定的な運用収益を確保するべく、公社債投資を中心とした運用を行っています。

また、運用にあたっては、流動性を確保しつつ、信用リスクを吟味したうえで各資産・銘柄の利回りを比較しながら、より有利な資産配分を行うことで、運用収益の拡大を図っています。

③他の保険会社の保険業に係る業務の代理または事務の代行

当該業務は行っておりません。

なお、当社は日本興亜損害保険株式会社に対して生命保険業務に係る業務の代理および事務の代行を委託しています。

(3) 日本興亜保険グループの一員として

当社は、日本興亜保険グループの生命保険部門としてその一翼を担う日本興亜損害保険株式会社100%出資の生命保険会社です。日本興亜保険グループは「安心を提供する事業」として損害保険業界では既に100年以上の歴史を持ち、その中で積み重ねた信用を受け継いでお客さまとの信頼関係を発展させています。

お客さまにとっては、将来の保障や安心を得るための手だてとして「生命保険」と「損害保険」は不可欠なものです。生保と損保を組み合わせることによって、個人の方々に対しても企業の皆さまに対してもトータルな視点でよりきめ細かい総合リスク管理が可能となります。当社は、お客さまにとって最良の総合保障は何かを考え、最も適切なリスク管理手法を提供いたします。

(4) 会社概要

(平成23年3月31日現在)

- 設 立 平成8年8月8日
- 資 本 金 200億円
- 総 資 産 5,281億円
- 保有契約高 5兆6,769億円（個人保険・個人年金保険・団体保険の合計）
- 本店所在地 東京都中央区築地三丁目4番2号
なお、本社機能は以下に移転しています。
東京都新宿区西新宿六丁目13番1号 新宿セントラルパークビル
- 取締役社長 橋本 和生
- 社 員 数 629名
- 営 業 拠 点 国内15ヶ所

I-3 NKSJグループの経営基本方針

～「成長」「信頼」No.1のグループへ～

2010年4月1日、日本興亜損害保険株式会社と株式会社損害保険ジャパンは共同持株会社「NKSJホールディングス株式会社」を設立し、NKSJグループが誕生しました。

NKSJグループは、「お客さまに最高品質の安心とサービスをご提供し、社会に貢献していく」ことを経営ビジョンの中心に据え、「『成長』『信頼』No.1」をグループ全体の共通標語として掲げて取り組んでいます。

NKSJホールディングス株式会社の概要

会社名：NKSJホールディングス株式会社
(英文表記：NKSJ Holdings, Inc.)
資本金：1,000億円
本店所在地：東京都新宿区西新宿1-26-1
代表取締役会長CEO(兼)会長執行役員：兵頭 誠
代表取締役社長CEO(兼)社長執行役員：佐藤 正敏

NKSJグループ経営基本方針

NKSJグループは、保険、金融事業の社会的責任と公共的使命を認識し、透明性の高いガバナンス態勢の構築とリスク管理、コンプライアンスの実効性確保を事業展開の大前提として、グループ全体の経営戦略を遂行し、持続的な成長を目指します。

1. グループ内のあらゆる分野で連携し、経営統合の効果を早期にかつ確実に実現することにより、経営効率を高めます。
2. 経営統合により強固となる財務基盤や人的資源を活用し、成長分野へ戦略的に経営資源を投入することにより、グループベースでの収益を向上させ、企業価値の拡大を目指します。
3. 全てのサービスプロセスにおいて業務品質の向上に取り組み、お客さまに最高品質の安心とサービスを提供することにより信頼を高めます。
4. 環境・健康・医療等、社会的課題に対して本業の強みを活かしつつ、ステークホルダーとの積極的な対話を通じて、企業としての社会的責任を果たし、持続可能な社会の実現に貢献します。
5. グループ内での人材交流、ノウハウの有効活用や組織の活性化を積極的に図り、自由闊達・オープンで活力溢れるグループを実現し、社員とともに成長します。

■グループの事業領域と主なグループ会社

NKSJグループは、徹底したお客さま視点で全ての価値判断を行い、お客さまに最高品質の安心とサービスを提供し、社会に貢献していくソリューション・サービスグループを目指していきます。



I-4 日本興亜保険グループ中期ビジョン

日本興亜保険グループは、2010年度よりNKSJグループの一員として、スタートをしました。

「社会への貢献」「質の向上」「収益の向上」「統合効果（シナジー）の追求」を柱とした戦略を着実に実行しNKSJグループの2014年度のグループ経営目標を達成するとともに、企業価値の向上を図ることを基本的な考え方としています。

I. 中期ビジョンの四本柱



II. 期間

5年間（2010年度～2014年度）

III. 中期ビジョンのねらい

- 「コスト効率（生産性）の向上」と「業務品質の向上」を両立するビジネスモデルの実現
- 日本興亜の特徴・強みを踏まえた戦略的な資源投下による成長の加速化
- 高い目標を掲げ、常にチャレンジしていく企業風土の醸成

IV. 国内生保事業の中期ビジョン

◇合併による成長の加速を図る

1. 営業・販売

○損保系チャンネルをはじめとしたオールチャンネルでの販売基盤強化

2. 商品・事務・システム

○マーケットニーズをとらえた商品の提供とバランスの良いポートフォリオの実現

○持続的成長を実現する事務システムの構築と活用



I-5 損保ジャパンひまわり生命保険との合併について

■合併の目的

2010年4月に発足したNKSJグループにおいて成長分野と位置づけられている生命保険事業を担う、当社と損保ジャパンひまわり生命保険株式会社は、「お客さまに最高品質の安心とサービスを提供し、社会に貢献していく」というグループの目標のもと、2011年10月1日に合併し、「NKSJひまわり生命保険株式会社」となることを予定しています。これにより、経営基盤をさらに強固なものとし、両社の特色や強みを活かして成長を加速させ、お客さまからこれまで以上に選ばれる会社になることを目指してまいります。

■合併期日および合併に関する基本事項

当社および損保ジャパンひまわり生命保険株式会社は、2011年10月1日に合併することを予定しております。両社の保険契約者の合併後における権利は、合併の効力発生日（2011年10月1日）においてNKSJひまわり生命保険株式会社に引き継がれます。なお、両社の合併は、関係当局の認可等を前提としています。

両社の合併に関する基本事項は下表のとおりです。

項目	内容
1 新社名（商号）	NKSJひまわり生命保険株式会社 （英文表記） NKSJ Himawari Life Insurance, Inc.
2 合併期日	2011年10月1日（土）
3 存続会社	損保ジャパンひまわり生命保険株式会社
4 事業内容	生命保険事業
5 資本金	172.5億円
6 代表者	代表取締役社長 松崎 敏夫
7 本店所在地	〒163-8626 東京都新宿区西新宿六丁目13番1号 新宿セントラルパークビル

■新会社名ロゴ

NKSJひまわり生命保険株式会社

英文表記

NKSJ Himawari Life Insurance, Inc.

■シンボルマーク

NKSJひまわり生命



<社名・シンボルマークに込めた想い>

最高品質の安心とサービスをご提供することで、お客さま一人ひとりの輝く笑顔を見守りつづけたい。その想いを、太陽を見つめつづける「ひまわり」に重ね、社名・シンボルマークとして表現しました。

また、大空へと高く、大きく成長するそのイメージは、NKSJグループの中核生命保険会社として、経営基盤をさらに強固なものとし、成長を加速していく新会社の姿を表しています。

■新会社ホームページアドレス

<http://www.nksj-himawari.co.jp/>

※上記ホームページアドレスは、合併日（2011年10月1日）以降ご利用できます。

I-6 合併新会社の経営ビジョンと目指す企業像

「お客さま視点で全ての価値判断を行い、お客さまに最高品質の安心とサービスをご提供し、社会に貢献すること」を経営ビジョンの中心に据え、ステークホルダーの皆さまからご支持が得られるよう、以下に掲げる生命保険会社の実現を目指してまいります。

1. 最高品質の安心とサービスを提供する生命保険会社

お客さま対応力・商品開発力・システム対応力を一層強化するとともに、販売基盤の拡充を図り、より多くのお客さまに最高品質の安心とサービスを提供します。

2. 存在感のある生命保険会社

収益力・成長力・信用力・健全性に裏付けられたブランドを確立するとともに、マーケットにおいて存在感のある生命保険会社を目指します。

3. 社会と環境にやさしい幅広いソリューションを提供する生命保険会社

健康・医療・環境等をキーワードに、人々の生活や企業活動に幅広いソリューションをご提供するとともに、あらゆるステークホルダーとの積極的な対話を通じて、企業の社会的責任（CSR）を実現し、一企業市民として社会の発展に貢献する経営を目指します。

4. 企業価値の最大化を図る生命保険会社

最適な経営資源の配分、経営の効率化・収益力の向上を通じて、企業価値の最大化を図り、NKSJグループの株主価値最大化に貢献します。

また、経営の一層の透明性の確保に努めます。

5. 自由闊達・オープンで活力溢れる企業文化を有する生命保険会社

活発なコミュニケーションの推進と、自ら専門性を高めその能力を最大限発揮できる企業文化の醸成により、ノウハウの有効活用や組織の活性化を図り、代理店・社員が働きがいを実感し、ともに成長できる生命保険会社を目指します。

I-7 トピックス

(1) 【東日本大震災】に関する当社の対応について

当社では、本社に本社災害対策本部を、被災地を担当する支店に現地災害対策本部を設置し、被災状況の把握を行うとともに、保険金・給付金の迅速かつ円滑なお支払いをはじめとして、各種の対応を行っております。

また、当社では、被災された皆さまに、下記の取扱い等を実施しております。詳細につきましては、当社総合カスタマーセンターまでお問い合わせください。

特別措置に関する対応

1. 災害死亡保険金・給付金の全額支払い
2. 保険金・給付金の簡易迅速な取扱い
3. 契約者貸付金の特別取扱い
4. 保険料払込猶予期間の延長

■上記につきましては、今後変更となる場合もあります。具体的対応についてのお問い合わせ、ご相談につきましては、当社総合カスタマーセンターまでご連絡ください。

(2) 骨髄提供者（骨髄ドナー）に対する給付の追加について

現在、骨髄移植は、血液難病患者にとって有効な治療方法として認識されています。一般的には、組織適合抗原(以下、「HLA」)が一致した骨髄ドナーから骨髄の提供を受けますが、兄弟姉妹でもHLAが一致する確率は四分の一、他人の場合は数百から数万分の一程度といわれており、骨髄ドナーを見つけることは難しいのが現状です。また、骨髄ドナーには「家族への説明や手術への不安などの精神的な負担」、「入院にともなう休業補償がないなどの経済的な負担」などがあるといわれています。

当社ではこの「休業補償がないことなどの経済的な負担」に着目し、通常の医療保障ではカバーできない骨髄採取にともなう骨髄ドナーへの給付を行うことを目的に『ホッとメディカル（正式商品名：医療保険(08)）』をはじめとする医療保障商品の改定を行い、白血病などに対する有効な治療として注目されている骨髄移植において、当社保険契約の被保険者が骨髄ドナーとして骨髄幹細胞を移植することを目的とした骨髄幹細胞採取手術を受けた場合、手術給付金をお支払いします。

今後、医療保障商品に加入される場合はもちろんのこと、すでにご加入いただいている医療保障商品にも自動的に本給付が追加されます。

支払対象は2011年10月1日以後に受けた骨髄幹細胞採取手術（骨髄ドナーと受容者（移植を受け方）が同一人となる自家移植を除きます）となります。ただし、責任開始期から1年以上経過していることを要します。また、骨髄幹細胞採取手術による手術給付は、各被保険者ごとに保険期間を通じて1回に限ります。

(3) 「健康・生活応援サービス」の開始について

当社と損保ジャパンひまわり生命との合併※に伴い、日本興亜生命のご契約者さまにご利用いただいております「ふれあいテレホンサービス」は2011年9月末日をもって終了いたします。同10月1日からは、さらにサービスを充実させた「健康・生活応援サービス」を提供させていただきます。

なお、「健康・生活応援サービス」の詳細につきましては、2011年10月1日以後、「NKSJひまわり生命保険株式会社」のホームページ (<http://www.nksj-himawari.co.jp>) に掲載の予定です。

※両社の合併は、関係当局の認可等を前提としております。

